

新型コロナウイルス感染症予防の取り組み 常磐大学高等学校

2020.05.28 Vol.1

本校では、文部科学省の学校再開ガイドラインを参考に、下記のとおり、校内における新型コロナウイルス感染症予防対策を講じることで、学校再開に向けて準備を進めております。生徒と保護者の皆様と教職員が協力して、学校生活が安全に始められるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

●文部科学省 学校再開ガイドライン チェックリストから（一部抜粋）●

- ・児童生徒・教職員の毎朝の検温、風邪症状の有無等の確認を行う準備ができていますか？
- ・手洗いや咳エチケットの指導を行いましたか？
- ・学校医、学校薬剤師等と連携した保健管理体制を整え、清掃などにより環境衛生を良好に保っていますか？
- ・抵抗力を高めることが重要であることの指導を行いましたか？
- ・3つの条件（換気の悪い密閉空間、人の密集、近距離での会話や発声）が同時に重なる場を避けるため、(1) 換気の徹底 (2) 近距離での会話や発声等の際にマスクの使用等を行うことを教職員の間で確認しましたか？
- ・一斉臨時休業に伴う学習の遅れに関する対応策について検討しましたか？

ガイドラインを前提とした基本的考え方

- ・学校、家庭で連携し、できる限りの対策を行う
- ・手洗いや咳エチケット、抵抗力を高める等の全般的な保健指導を行う
- ・校内各所に手指消毒用のアルコールを配置する
- ・登校前の検温と健康観察を習慣づけてもらうことで、生徒の健康状態を確実に把握する
- ・検温と健康観察の結果、発熱や風邪症状が見られた場合、登下校等に不安があつて学校を休む場合、また感染者・濃厚接触者になった場合等は、学校に欠席の連絡をし、届けを提出してもらうことで出席停止とする
- ・校内での感染予防対策を、登校後・授業中・昼食時・放課後と場面に応じて徹底して行う

<生徒の皆さん>

○登校前の体温測定・健康観察の徹底

- ・ Classi アンケートを利用して、必ず毎朝の体温と健康状態を登校前に報告してください
(Classi アンケートの接続がうまくいかない場合、配布された紙に記録を残しておいてください)
- ・ 検温を忘れた場合、教員室前で検温をしてから教室に入ってください

○手洗いの励行、咳エチケットの推奨

- ・ 必ずマスクを着用して生活してください
- ・ 教室に入る前に、各自手洗い場に掲示された方法に従って、石けんによる手洗いを必ず行ってください
- ・ 手洗い後に、手を拭くためのタオルやハンカチを1人1枚必ず持ってきてください

○昼食の摂り方と昼休みの過ごし方

- ・ 昼食を食べる前に、石けんによる手洗いを必ず行ってください
- ・ 必ず教室で、自分の席で、前を向いて、話をせずに食べてください
廊下やグループスタディルーム・フォーラム・部室等での飲食や、回し飲食はしないでください
- ・ 水筒の持参を推奨します
- ・ 昼休みの時間、体育館・アリーナは使用できません

○授業形態・内容に応じた感染症予防対策

- ・ 体育や特別教室等を利用する授業の場合、必ず石けんでの手洗いを行った上で、皆さんが清潔な状態でボールやパソコン等に触るようにしてください
- ・ 感染症予防対策で、今年度のシラバスと異なる順番や方法で授業を行うこともあります

○スタディルーム・グループスタディルーム・図書室等の利用における感染症予防対策

- ・ 放課後等、入室前後に石けんでの手洗いを行った上で、対面や至近距離を避けて利用してください
(各室の机に×印等が掲示されている箇所は利用できません)

<保護者の皆さん>

○登校前の体温測定・健康観察の徹底

- ・ 毎朝、お子さんの体温と健康状態の確認をしてください
お子さんの体調が悪い時は無理に登校させず、8時25分までに学校へ連絡をしてください

○手洗いの励行、咳エチケットの推奨

- ・ お子さんに、手を拭くためのタオルやハンカチを毎日1枚持たせてください
- ・ 必ずマスクを着用して登校させてください

○早退、出席停止の目安

- ・ お子さんやご家族が新型コロナウイルス感染症の陽性・濃厚接触者、濃厚接触者の同居家族となった場合は、遅滞なく速やかに学校へご連絡をお願いいたします
- ・ 登校後、学校でお子さんに風邪症状・発熱等が見られた場合は、休養ではなく早退を促しますので、早退時のお迎えや連絡対応にご協力をお願いいたします
- ・ お子さんが体調不良等で学校を欠席する場合、保護者記入の新型コロナウイルス感染症専用の連絡用紙で、学校へ報告をお願いします
- ・ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合は、帰国者・接触者相談センターやかかりつけの医療機関にまずは電話などで相談してください
（※症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください
持病があったり、解熱剤などを飲み続けなければならない時も同様です）
相談後、指示された内容について、学校へご連絡をお願いします

<学校—教職員>

○登校前の体温測定・健康観察の徹底

- ・ 教職員も毎朝検温し、健康管理に取り組み、発熱がある場合や体調不良時は出勤しないようにします
- ・ Classi アンケートを利用して、必ず毎朝の体温と健康状態を出勤前に報告します
- ・ 担任は毎日 SHR の時間に生徒の皆さんの健康観察を行います
- ・ 検温を忘れた生徒がいた場合、教室に入る前に検温をするよう指導します

○手洗いの励行、咳エチケットの推奨

- ・ 必ずマスクを着用して授業やホームルームに臨みます
- ・ 授業の前・後に、石けんによる手洗いやアルコールでの消毒を行います
- ・ 清掃後、ドアノブや窓の鍵、スイッチなど、共用箇所の消毒を行います

○授業前後・中の換気の実施

- ・ 授業開始 20～25 分経過後・授業間の休み時間は、最短 5 分間ドアと窓を開けて換気を行います

○昼食の摂り方の指導

- ・ 昼食を食べる前に、石けんによる手洗いを必ず行うよう指導します
- ・ 必ず教室で、自分の席で、前を向いて、話をせずに食べるよう指導し、校内の巡回なども行います
- ・ 昼休みの時間は、教室の窓とドアを開けて換気を行います

○早退、出席停止の基準

- ・ 生徒やそのご家族が新型コロナウイルス感染症の陽性・濃厚接触者、濃厚接触者の同居家族となった場合は、登校できなかつた期間を出席停止となります
- ・ 学校で、生徒に風邪症状・発熱等が見られた際は、休養ではなく早退を促します
- ・ 生徒が新型コロナウイルス感染症に関して登校できなかつた場合、保護者記入の新型コロナウイルス感染症専用の連絡用紙で、家庭との連絡を密に行います

○授業形態・内容に応じた感染予防対策

- ・ 各教科・科目において、ペアワーク・グループワーク等の対面や至近距離での学習活動は、十分配慮した上で行います
(感染症予防対策の観点で、今年度のシラバスと異なる順番や方法で授業を行うこともあります)

○スタディールーム・グループスタディールーム・図書室等の利用における感染予防対策

- ・ 放課後等、対面や至近距離で生徒が利用しないよう、各室の机に×印等を掲示し、適切な管理を行います

○部活動での感染予防対策と生徒の健康管理

- ・ 部活動再開にあたっては、感染症予防対策を講じ、十分な準備運動を行うなど身体に過度な負担がかからないよう配慮し、段階的に進めていきます